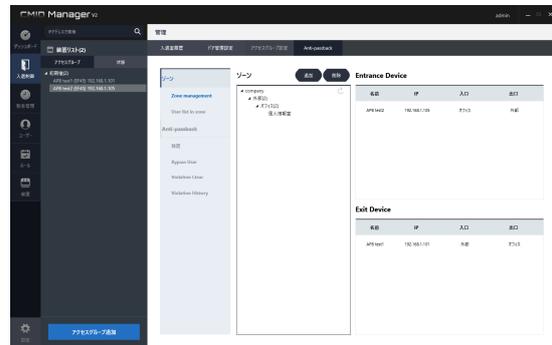


# CMID Manager V2 機能が強化されました

-グローバルアンチパスバック対応-

虹彩認証入退室装置 EF-45 の管理システム CMID Manager V2 の進化が止まりません。これまでのローカルアンチパスバック機能に加えて、かねてから要望されていたグローバルアンチパスバック\*機能が追加されました。これによりお客様の共連れ防止が必要な厳格な入退室管理ニーズにもお応えできるようになりました。ネットワーク型入退室管理システムとしての汎用性と直感的な操作性で定評いただいていた CMID Manager に強力な機能が追加されました。

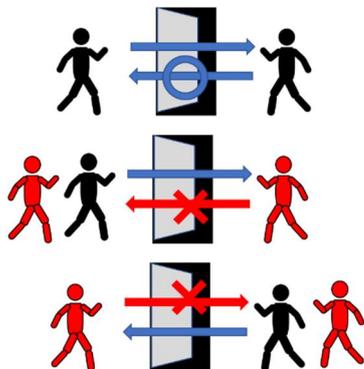


【CMID Manager グローバルアンチパスバック設定画面】

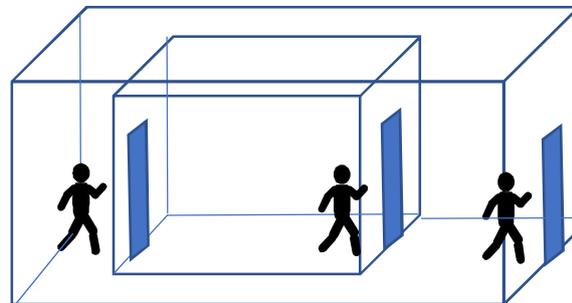
## \*グローバルアンチパスバック

入室記録がある人だけ退室を許可し入室記録がある人だけが退室を許可される入退室管理をアンチパスバック機能と呼びます。これは共連れによって不正に入室した人の退室を制限するだけではなく、正しい入退室認証をおこなうことを習慣付けることで全体のセキュリティ性を高める効果があります。アンチパスバックにはローカルアンチパスバックとグローバルアンチパスバックがあります。

ローカルアンチパスバック



グローバルアンチパスバック



入室時認証すると退室時も認証退室可能です。  
 入室時共連れで入室すると退室認証できません  
 退室時共連れで退室入室認証できません  
 ただし、一つの部屋にドアが二つある場合また部屋の中にさらに部屋がある場合正しくアンチパスバック管理ができません。

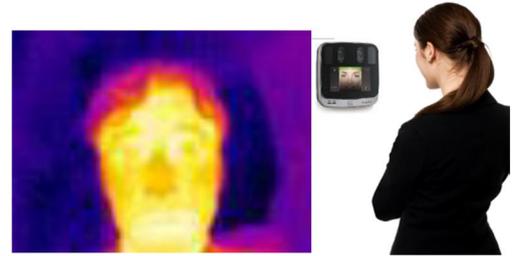
グローバルアンチパスバックでは上図の様に部屋に複数のドアがある場合でも、部屋の中に小部屋がある場合でも、正しくアンチパスバック管理が行えます。大きなオフィスでの利用や、セキュリティゾーンの中にサーバ室がある場合などでも厳格なセキュリティ管理が可能です。

\*グローバルアンチパスバックを行う場合は2台以上のEF-45を管理できるライセンスが必要です。また、ライセンス取得時に“アンチパスバック”を利用すると申請してください。

## 最新情報！

### パンデミック対策検温機能システム開発計画

新型コロナウイルスのパンデミックが大きな問題になっています。このような環境化企業のBCP（企業継続計画）の根幹になるのが感染者をいかに早く見つけ出し企業内への感染を防ぐかだといわれています。現在、EF-45の開発元CMI TECH社では、EF-45とサーマルセンサの統合により認証者の体温を検知して入室制限をおこなうと同時に、関連部署に通知する機能の開発を計画しています。実装状況は続報します。



## 新製品紹介 ノンコンタクトドアオペレータ EC-Turn

### ノンコンタクト入退室ソリューション虹彩認証

は、マスクをしても認証可能、センサに触れることなく認証できるとしても衛生的な生体認証装置としてユーザから好評を頂いています。が、せっかくのノンコンタクトソリューションもドアを開けるときにはノブに触らなければならないとがっかりしてきたユーザに朗報です。ドイツのドア関連器具の老舗メーカーGEZE社のドアオペレータがいよいよ本格的に日本国内で販売展開されることとなります。ドアオペレータは既存の開き戸が自動開閉する自動ドアに変えることができる機器です。ノンタッチ入退室管理をご希望のお客様、バリアフリーをご検討のお客様に最適な製品です。EF-45との組み合わせによる完全ノンコンタクト生体認証入退室管理、カードリーダ、人感センサとの連携でも威力を発揮します。



EC-Turn

- ▶ スタイリッシュなデザイン
- ▶ 外開き・内開き、左右勝手あらゆる開き戸に設置可能
- ▶ オフィスのノンコンタクト入退室管理
- ▶ バリアフリー対策
- ▶ 食品工場等衛生管理が厳格な場所
- ▶ 病院・介護施設にも最適

